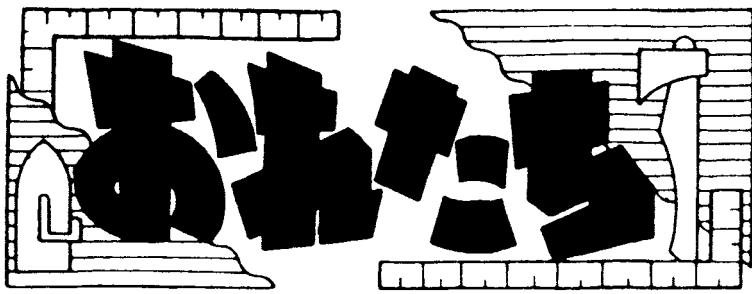


来月の無料法律相談は

3月16日(金) 14時~16時

希望者は前日までに予約を

2月初組合員数=2018人(-10人)



2012年

2月10日

第520号

http://www.doken-arakawa.org/ 東京土建荒川支部

検索

南千住在住
遠藤智勝さん家族

「原発事故は収束していない」

3・11東日本大震災 福島・いわき市 実家は津波で全壊



一家4人 栃木・茨城を経て東京へ



①故郷の福島で被災した遠藤さん夫妻と美空ちゃん
②海沿いに位置する福島・いわき市平豊町

遠藤智勝さん(40)は現在、妻の陽子さん(43)、美空ちゃん(1歳8カ月)、義母の敏子さん(76)と南千住の都営アパートに住んでいます。昨年3月の東日本大震災で福島県いわき市の実家は津波で全壊、原発事故もあつて故郷の福島を離れました。遠藤さん夫妻に当時のことを聞きました。

文・写真 船橋賢一書記

津波は地震から30分くらいで来た

遠藤さんの実家はいわき市平豊町字柳町。大地震のあつたあの日、実家は津波で全壊

しましたが、智勝さんは病院で勤務、陽子さんと美空ちゃんはまだまた外出していたため無事でした。

智勝さんは「津波は地震の後30分くらいで来ました。働いていた病院は海から1000メートルのところにありましたが、1階は完全に浸水しました。あの津波で800世帯のうち600世帯が流されました。親戚も亡くしました」と話します。

家を失った遠藤さん一家は、近くにあった避難所のテレビで福島第一原発の爆発を知りました。10カ月の美空ちゃんが泣く声がうるさいという避難所の雰囲気にならなれず、そこを出て、陽子さんの

母敏子さんが暮らす市営住宅に移りました。

放射能で危ない いわき市を脱出

市営住宅で原発が3回目の爆発を起こしたことを知ります。その上、消防団員が放射線を測っていた人たちが「この辺も危ない」と言われたことを知り、ついに怖さのあまり市営住宅を出ることにしました。

ただ、陽子さんの軽自動車は残っていましたが、市営住宅を出るにもガソリンが手に入らない。そこで、タクシード福島空港まで行こうと考えます。しかし、航空会社に電

子どもたちを放射能から守る講演のつどい

主催：東京土建一般労働組合荒川支部
教育宣伝部・主婦の会

2012年2月19日(日)

会場：サンパール荒川5階第7集会室
14:00開会(13:40開場)~16:40閉会予定

講師：吉度 日央里(よしど・ひをり)さん

放射能に打ち勝つ食事と手当を全国に広める会代表。オーガニック・ジャーナリスト。玄米を主体とした穀物と野菜、海藻を使った料理と手当て法を伝え、放射性物質を体から排出して免疫力を高める手助けをしています。

参加対象 子育て世代の組合員・主婦の会会員(非会員も)、ほか聴講希望者

定員 70人(先着順 お子様連れ可)

参加費 無料

話をしても不通。やっとつながった航空会社からは、「当日になってみないとフライトするかどうかわからない」と言われましたが、空港まで行けばいつかは飛ぶだろうと判断。タクシース会社に電話をしました。ところが、タクシース会社からは「事故につながる危険もあるから」と断られてしまいます。

茨城県結城市に住む智勝さんの友人から国が貯蓄しているガソリンが届くという情報をもらい、3月16日の朝、ガソリンスタンドが開き、満タンにすることができました。

国道で結城の友人宅をめざす

市営住宅を後にした遠藤さん一家は、友人のいる結城市をめざしました。海沿いの国

道6号は危険なため、遠回りをして国道49号から4号に入りました。しかし、大渋滞に巻き込まれて宇都宮市内のビジネスホテルに一泊することに。いわきを出てから9時間が経っていました。ホテルでは数日ぶりにお風呂に入りました。

その後、結城の友人宅に4日間いた後、不動産を営む陽子さんの親戚の紹介で大田区大森のアパートに移り、3月21日から4月5日まで住んでいました。都の震災情報で都営住宅の居住者募集を知り、応募しました。抽選で現在の南千住の住宅が当選し、4月6日から南千住に移りました。

「来年の4月で契約が切れます。ぼくは介護福祉士ですが、今は休職中です。子どもも小さいですし、母も障害者。政府は原発事故の収束宣言をしましたが、私たちが元の暮らしを取り戻せなければ収束なんて言えません」と智勝さんは切々と話してくれました。

支部旗びらき 160人が参加

建設業の疲へい打破に団結

歌謡ショーには葵と楓さん登場

【五箇谷日出雄通信員】荒川 1月13日、サンパール荒川で支部旗びらきが行なわれ、組合員98人、来賓



40人など総勢160人が参加しました。まず、開会のあいさつに立った豊田支部委員長は「建設産業の疲弊を打破して、今年も団結してがんばっていきましょう」と述べました。

本部から瀬田副委員長が来賓としてあいさつ。東京土建は東日本大震災で被災した仲間を支援するため、組合員一人10000円のカンパを募り、一億円の義援金を被災者に送ったこと、建設国保の補助金3222億円を確保できたのも組合員がハガキ要請や予算要求を行なった成果であること

を報告しました。



来賓の国会議員や区議会議員の各会派は、建設国保はみなさんの命の綱であり、これからもこれを守るために尽力していくとあいさつしました。

続いて鏡開きが行なわれ、その後歌謡ショーへ。葛飾支部の組合員のお孫さん、葵と楓さんが「潮来笠」などを披露し、小学生の女の子の澄んだ歌声は参加者を魅了しました。

最後に時田支部副委員長の団結カンパロウで閉会となりました。



浦野税理士

戦後最悪の増税と社会保障改悪へ

税金大学習会

【三田秀子 書記局】1月25日、町屋ムーブホールで「税金大学習会」が行われ、税理士の浦野広明さん

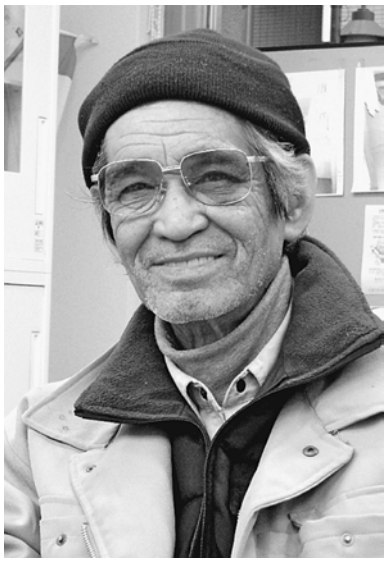
（立正大学法学部客員教授）が「確定申告と取りまく情勢」と題する講演を行いました。

「民主党政権は、第二次大戦後最悪の庶民増税と社会保障改悪を行なおうとする24年度税制改正法案を3月末までに提出しようとしている。社会保障は今年10月に耐えかねつづける。からの3年連続年金カットを皮切りに、あらゆる分野の改革計画を盛り込み、増税は社会保障のためという口実は完全に破綻。社会保障も税も一体の改悪だ。参加者は60人でした。」

健診はしっかり受けよう

アスベスト中皮腫の疑いで再受診

熱絶縁の仕事をしている時田國勝さん（西尾久分会、67）は、秋の組合の健康診断で「悪性中皮腫の早期発見」のための血液検査を受



「結果が分かるまでは心配でしたが、今後のため受診してよかった」と話す時田さん

けました。数カ月後、土建組合から「中皮腫の疑いがあるのでは、指定する専門医療機関で再検査が必要」との連絡を受けました。4

カ所の医療機関のうち交通の便が良い御茶ノ水の順天堂大学を受診しました。

11月24日、胸部レントゲンとCT、採血を受けました。2週間後の12月8日に結果が分かり、①胸膜は3カ所だけ普通の人より厚い、②中皮腫になっている人の断層写真からすれば、急に発病はしないだろう、という診断でした。

時田さんは、「ぼくらはアスベストに触れる機会があるので、やっぱり健診は必要です」と健康診断を受ける重要性を話していました。

文・写真 船橋賢一 書記局

初参加者に聞きました

旗びらき

情報交換できていい仲間にも教えたい

渡部実さん

渡部実さん（日暮里1、解体、51）は前の支部に



「今回は分会の人を紹介してもらい、分会長の椿さんとはお客さんが一緒に話が弾んだ。他の方も情報交換できて良かった。他にも行事があるようなので、ぜひ知らせてほしい。人とのつながりが大切なので参加したい。仲間にも教えたい」と話していました。

川又好一記者 日暮里1

にぎやかな雰囲気

とっていいです

吉田敬子さん



年に一度みなさんと話ができるのはいい

岡本光市さん

「昨年も分会の忘年会に参加して、まとまりある分会だと思っていたが、今回



10組のカップルが成立

後継者 婚活パーティーに334人

【今野賢一 通信員】東尾久1 1月29日、本部後継者対策部が新宿ノモ3で婚活パーティーを行い、全体で女性105人を含む334人、荒川支部は男女2人が参加しました。

男女それぞれ違う階に分かれ、パーティーが始まり、ご対面。芸人のパワフル聖子さんのものまねも楽しみました。「いいなカード」に入った人の名前を記入し、10組のカップルが成立。盛大に祝福され、ディズニート券など豪華な景品が渡されました。

荒川支部はカップルは不成立でした。名前ピンゴ大会を最後に女性全員に景品が渡され、終了しました。